

小規模多機能ホームひより 運営推進会議報告書

<日 時> 令和 7 年 8 月 21 日 (木) 14:00~14:45

<出席者>

利用者家族様 0 名 利用者様 0 名 地域の方 1 名 出雲市職員 1 名
高齢者あんしん支援センター職員 1 名 施設職員 2 名

<議 題>

■前会議報告 ■ご利用・活動状況報告 ■質疑応答 ■次回の運営推進会議について

<報告事項>

○サービス利用状況 登録者数 18 名、平均介護度 2.4 *別紙資料参照

○活動状況

- ・季節の行事 : 6月 夏至・大祓
7月 七夕・七夕献立・土用丑の日献立・海の日・大暑
8月 夏祭り・散髪ボランティア・山の日・終戦の日・盆の入り・送り盆・誕生会

○意見交換

ひよりより…7月から新規利用の男性

穏やかな方だが、15:00頃より豹変するため、居室にて個別対応を行っていたが、歩行器を持ち暴れる等あるが、17:30頃に家族が迎えに来ると笑顔になる。

家族と相談し、15:30~17:30の間、職員が自宅で見守る対応としたが、数日後、自宅で立ち上がりれなくなり、出雲徳洲会病院へ入院となった。今後、退院となった場合、家族としても在宅での介護は難しいとの事で当施設利用は終了となった。

過去にも豹変されたり、手が出る利用者もいたが、男性の方の場合、力も強いので対応が難しい。また、当施設では、通いの方と泊まりの方が混在しているので、通いの方が帰られる時間帯は、泊まりの方や送り時間が遅い方が不穏になりやすい。

『夕暮れ症候群』…認知症の高齢者に見られる特定の症状を指します。夕方から夜にかけて、不穏、興奮、徘徊、混乱、帰宅願望、攻撃的な言動などが増加する状態。環境が薄暗くなり不安が増す、日中の疲労、体内時計の乱れ・睡眠と覚醒リズムがおかしくなって、夕方になると半分寝ているような起きているような状態等の要因がある。

様より…60代後半～70代前半の1人暮らしの方が、家で動けなくなる方が多い。また、身寄りがないわけではないが、親族と疎遠になっている方が多く、入院や介護サービス等利用するにも身元保証人を引き受けてくださる方が見つかり難い。

様より…コロナ感染者、熱中症罹患者が増えている。(熱中症→救急搬送→介護認定依頼増)

コロナに関してはクラスターまでではないがポツポツ出ている。コロナ変異株の感染症状としては強烈な喉の痛みがある。

※コロナが5類扱いとなり、パーテンション等を一度外している為、再度コロナ感染予防対策として、使用するにも利用者からは他の利用者と会話が楽しめない。聞こえにくい。等訴えもあり対応が難しい。コロナに関しては、インフルエンザのような季節流行ではない為、継続して感染予防を行っていく必要性があるが、利用者が感染した場合、在宅での看病となった場合、家族の協力が得られない場合が多い為、対応が難しい。

<次回の会議> ○次回開催月日 令和7年10月16日(木) 14時00分からの予定